

ローンカード規定

1. (カードの利用)
 - (1) 当組合の現金自動預入払出機（以下「預金機」といいます。）を使用して、けんしんカードローンの貸越を受ける場合、または貸越に入金する場合に利用することができます。
 - (2) 当組合本支店の窓口で貸越を受ける場合、または臨時に返済する場合も同様に使用できます。
 - (3) 当組合がオンライン現金自動預金機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下「入金提携先」といいます。）の預金機を使用してローンの貸越に入金する場合。
 - (4) 当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「支払機」といいます。）を使用してローンの貸越を受ける場合。
 - (5) 当組合および出金提携先のうち、当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による振込業務を提携した金融機関等（以下「振込提携先」といいます。）の自動振込機（振込を行うことのできる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「振込機」といいます。）を使用してローンの貸越を受ける場合。
2. (預金機による貸越入金)
 - (1) 預金機を使用して貸越へ入金するときは預金機にカードおよび現金を挿入して操作してください。
 - (2) 預金機による入金は、預金機の機種により当組合または入金提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、1回あたりの預入額は、当組合または入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。
3. (支払機による貸越出金)
 - (1) 支払機を使用して貸越を受けるときは、支払機の画面表示等の操作手順に従って、支払機にカードを挿入し、届出の暗証および金額をボタンまたは画面上のタッチパネルにより正確に入力してください。この場合、請求書の提出は必要ありません。
 - (2) 支払機による貸越は、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単位とし、1回あたりの貸越は、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの貸越は当組合所定の金額の範囲内とします。
 - (3) 支払機により貸越をする場合に貸越することのできる金額は当座貸越の利用できる範囲内とし、これを超えるときは貸越することができません。
 - (4) 支払機を使用して貸越を受ける場合に、その貸越金額と第5条第2項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が貸越できる金額をこえるときは、その貸越はできません。
4. (振込機による振込)
 - (1) 振込機を使用して振込資金を貸越から振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って振込機にカードを挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。
 - (2) 前項の振込依頼をする場合における1回あたりの振込は、当組合または振込提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの振込は当組合所定の金額の範囲内とします。
 - (3) 振込機を使用して振込資金を貸越からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合に、振込金額、振込手数料金額と第5条第2項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が、貸越できる金額をこえるときは、その振込はできません。
5. (自動機利用手数料等)
 - (1) 預金機を使用して貸越に入金する場合には、当組合または入金提携先所定の預金機の利用に関する手数料をいただきます。
 - (2) 支払機または振込機を使用して貸越を受ける場合には、当組合または出金提携先所定の支払機・振込機の利用に関する手数料（前項の手数料とこの手数料を総称して、以下「自動機利用手数料」といいます。）をいただきます。
 - (3) 自動機利用手数料は、この貸越と同時に所定の金額が貸越として発生します。なお、入金提携先または出金提携先の自動機利用手数料は、当組合から入金提携先または出金提携先に支払います。
 - (4) 振込手数料は、振込資金の貸越を受ける場合に自動的に発生します。なお、振込提携先の振込手数料は、当組合から振込提携先に支払います。
6. (預金機・支払機故障時等の取扱い)
 - (1) 停電・故障等により預金機による返済取扱いができないときは、窓口営業時間内に限り、当組合本支店窓口でカードにより貸越へ入金してください。なお、入金提携先の窓口では、この取扱いはしません。
 - (2) 前項による入金をする場合には、当組合所定の入金票にカードの口座番号、氏名、金額を記入のうえ、カードとともに提出し、当組合所定の手続きに従ってください。
 - (3) 停電・故障等により支払機による貸越取扱いができないときは、窓口営業時間内に限り、当組合が定めた金額を限度として当組合本支店の窓口でカードにより貸越を受けることができます。なお、出金提携先の窓口では、この取扱いはしません。
 - (4) 前項による貸越を受ける場合には、当組合所定の請求書にカードの口座番号、氏名、金額、届出の暗証を記入のうえ、カードとともに提出し、当組合所定の手続きに従ってください。
7. (カード・暗証の管理等)
 - (1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが当組合が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ払戻しを行います。当組合の窓口においても同様にカードを確認し、払戻請求書、諸届その他の書類に使用された暗証と届出の暗証との一致を確認のうえ取扱いをいたします。
 - (2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないように管理してください。カードが偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる払戻し停止の措置を講じます。
 - (3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出してください。
8. (偽造カード等による払戻し等)

偽造または変造カードによる払戻しについては、本人の故意による場合または払戻しについて当組合が善意かつ無過失であって本人に重大な過失があることを当組合が証明した場合を除き、この効力を生じないものとします。

この場合、本人は、当組合所定の書類を提出し、カードおよび暗証の管理状況、被害状況、警察への通知状況等について当組合の調査に協力するものとします。
9. (盗難カード等による払戻し等)
 - (1) カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた払戻しについては、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当組合に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。
 - ①カードの盗難に気づいてからすみやかに、当組合への通知が行われていること
 - ②当組合の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること
 - ③当組合に対し、警察署に被害届を提出していることその他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること
 - (2) 前項の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当組合は、当組合への通知が行われた日の30日（ただし、当組合に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前の日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。

ただし、当該払戻しが行われたことについて、当組合が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当組合が証明した場合には、当組合は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。
 - (3) 前2項の規定は、第1項にかかる当組合への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な預金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。
 - (4) 第2項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当組合が証明した場合には、当組合は補てん責任を負いません。
 - ①当該払戻しが行われたことについて当組合が善意かつ無過失であり、かつ、次のいずれかに該当する場合
 - A 本人に重大な過失があることを当組合が証明した場合
 - B 本人の配偶者、二親等内の親族、同居の親族、その他の同居人、または家事使用人（家事全般を行っている家政婦など。）によって行われた場合
 - C 本人が、被害状況についての当組合に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合
 - ②戦争、暴動等により著しい社会秩序の混乱に乗じまたはこれに付随してカードが盗難にあった場合
10. (カードの紛失、届出事項の変更等)

カードを紛失した場合または氏名、代理人、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当組合所定の方法により当組合に届出てください。
11. (カードの再発行等)
 - (1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当組合所定の手続きをした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。
 - (2) カードを再発行する場合には、当組合所定の再発行手数料をいただきます。
12. (預金機・支払機・振込機への誤入力等)

預金機・支払機・振込機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当組合は責任を負いません。なお、入金提携先の預金機、出金提携先の支払機、振込提携先の振込機を使用した場合の入金提携先、出金提携先または振込提携先の責任についても同様とします。
13. (解約、カードの利用停止等)
 - (1) けんしんカードローンの取引を解約する場合は、カードを当店に直ちに返却してください。
 - (2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不適切と認めた場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合からの請求がありしだい直ちにカードを当店に返却してください。
 - (3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。
 - ①第14条に定める規定に違反した場合
 - ②預金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合
 - ③カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合
14. (譲渡、質入れ等の禁止)

カードは譲渡、質入れまたは貸与することができません。
15. (規定の適用)

この規定に定めのない事項については、カードローン契約書（当座貸越契約書）の条項により取扱います。
16. (規定の変更)
 - (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、店頭掲示、当組合ウェブサイトへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
 - (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。